

■ 懇親会：

研究会終了後、18:30 より仙台市内にて懇親会を開催予定としております(会費：4～5,000円程度)。

皆様の交流、ならびにさらなる意見交換の場に出来ればと考えておりますので、こちらも併せて奮ってご参加下さい。なお、参加人数把握のため、参加をご予定されている方は、できるだけ事前に参加申込みをしていただけますようお願いいたします。

■ 研究会および懇親会への参加申込み：申込み〆切：12月21日(月)

研究会ならびに懇親会に参加予定の方は、担当 <jsise-uml@eitl.cs.takushoku-u.ac.jp> 宛に、(1)ご氏名、(2)ご所属、(3)ご連絡先 E-mail アドレス、(4)資料の要・不要、(5)懇親会の参加の有無を記入の上、12月21日(月)までにご連絡ください。なお、資料がご不要で、懇親会にも参加されない場合には、事前にお申込みいただかなくとも結構です。

■ 問い合わせ / 参加申込み先

第5回研究会担当委員(佐々木 整、永森 正仁、三石 大)

E-mail: jsise-uml@eitl.cs.takushoku-u.ac.jp

(代表) 東北大学教育情報基盤センター 三石 大

Tel. 022-795-6171, Fax. 022-795-3115, E-mail: takashi.mitsuishi@cite.tohoku.ac.jp

■ プログラム

□ 開会挨拶 9:30～9:40 挨拶：渡部 信一 (東北大学)

□ セッション1 9:40～11:45 座長：妻鳥 貴彦 (高知工科大学)

1. 手法を用いた「個別の教育支援計画」eポートフォリオ・システムの開発
○永森 正仁(長岡技術科学大学), 森本 康彦(東京学芸大学), 植野 真臣(電気通信大学)
2. 高齢者のパソコン操作の特徴を考慮したインストラクショナルデザイン形式
○山田 浩貴, 広瀬 啓雄(諏訪東京理科大学)
3. 粒度の細かな学習オブジェクトへの分解と再利用を可能とするシステムの構築に関する研究
○安藤 公彦, 松永 信介, 藤澤 公也, 稲葉 竹俊(東京工科大学)
4. 映像編集機能を持った教育映像データベースの開発
○柳沼 良知, 鈴木 一史, 児玉 晴男(放送大学)
5. 対話型共有電子黒板システム IMPRESSION による教示記録の自由な視聴を可能とする
Flash 版再生システムの設計と実装
○大河 雄一, 三石 大(東北大学)

□ セッション2 13:00～15:05 座長：江木 啓訓 (東京農工大学)

6. 無線センサデバイスを用いた動きを伴う学習活動への応用
○柏木 治美, 孫 一, 孫 荻, 康 敏, 大月 一弘(神戸大学)
7. サラウンディングキャンパスにおける利用者コンテキストを活用した情報提供
○山崎 雄大, 福田 将行, 清水 雅也, 妻鳥 貴彦(高知工科大学)
8. 真正な知識獲得を誘発する携帯電話を用いた適応型ナビゲーションシステム
○宮澤 芳光, 植野 真臣(電気通信大学)
9. ケータイ端末による俳句作成支援環境の構築の一検討 — 実空間と俳句世界の融合に向けて —
○高田 伸彦(金沢学院大学), 鈴木 雅実(KDDI 研究所), 柳澤 良一(金沢学院大学)
10. モバイル機能を備えた動画投稿共有サイトの教育利用に向けての実践
○尾崎 拓郎, 佐藤 隆士(大阪教育大学)

□ セッション3 15:15～17:20 座長：佐藤 隆士 (大阪教育大学)

11. タブレット PC を用いた eラーニング・コンテンツ画面への手書き入力環境の効果分析
○安藤 雅洋(長岡技術科学大学), 植野 真臣(電気通信大学)
12. eラーニング科目における学生の受講形態に関する分析
○江木 啓訓, 辻澤 隆彦(東京農工大学)
13. 児童対象メロディ付き物語創作支援システムの開発と教育実践
○亀谷 学人, 稲部 浩平, 力武 克彰(仙台高専), 佐藤 貴之(北九州市立大)

14. Educational game を利用したプログラミング教育の効果に関する一考察

○佐々木 整, 水野 一徳, 青嶋 健一, 作左部 剛視(拓殖大学)

15. D-P 方式によるプレゼンテーション教育

○村上 和繁, 大隅 敏明, 宇治 典貞(大阪電気通信大学), 正木 幸子(大阪商業大学), 竹嶋 徳明(大阪国際大学), 中村 民明(tami 情報教育研究所), 岡本 久仁子(大阪国際大学), 岩崎 重剛(やる気教育研究所), 石桁 正士(大阪電気通信大学), 松永 公廣(摂南大学), 横山 宏(大阪電気通信大学)

- 閉会挨拶 17:20~17:30 挨拶: 三石 大 (東北大学)
 □ 懇親会 18:30(予定)~

◆◇◆2009 年度 JSiSE 研究会開催予定◆◇◆

開催日時	テーマ	会場	担当
第5回研究会 2010年1月23日(土)	モバイル&ユビキタスラーニングと新しい ユーザ・エクスペリエンス/一般	東北大学	佐々木, 永森 三石
第6回研究会 2010年3月13日(土)	生涯教育と情報教育/一般	畿央大学	松永, 西野 西端
特集研究会 2010年3月13日(土)	ネットワークコミュニティにおける学習 ・教育支援		柏原・小西

◆◇ 研究報告のお求めは ◇◇

研究報告のバックナンバーを購入ご希望の方は、(株)毎日学術フォーラムまで
お申し込みください。1部1,300円(送料共)です。

株式会社 毎日学術フォーラム
 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル2階
 TEL : 03-6267-4550 FAX : 03-6267-4555
 Mail : maf-sales@mycom.co.jp
 URL : http://maf.mycom.co.jp

なお、JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局までご連絡ください。
 この際にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。

年間購読料 4,000円 / 年6回発行(送料込)

=====

2009 年度第 6 回研究会 発表募集

=====

担当：松永公廣，西野和典，西端律子（研究会委員会）

「生涯学習と情報教育/一般」をテーマに 2009 年度第 6 回研究会を開催致します。
会場は畿央大学（奈良県）です。情報教育一般に関する発表も歓迎いたしますので奮ってご応募ください。
なお、教育システム情報学会の特集号のための「特集研究会」と平行して開催します。テーマが幾分重なる場合にはよく考えられて申し込んでください。

- **テーマ** : 生涯学習と情報教育 及び 情報教育一般
- **開催日** : 2010 年 3 月 13 日 (土)
- **開催場所** : 畿央大学 (〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中 4-2-2)
<http://www.kio.ac.jp/guide/access.html>

- **主旨** : 情報化社会の進展と共に、情報は我々の日常の学びと切り離せないものになりました。さまざまな校種における学校内での情報教育はもちろんのこと、家庭、地域などさまざまな場面での情報教育も考えられます。事例、モデル、次期学習指導要領への対応など、多くのご発表をお待ちしております。

- **発表申込締切** : 2010 年 1 月 8 日 (金)

以下の事項を電子メールにてお送りください。 **※題名に「第 6 回研究会申込」とお書きください※**

- (1) 発表タイトル
- (2) 発表者（登壇者に○）
- (3) 所属
- (4) 概要（200 字程度）
- (5) 連絡先住所，氏名，電子メールアドレス
- (6) その他，発表に関する要望
- (7) 申込先：畿央大学 教育学部 西端律子
〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中 4-2-2
電話：0745-54-1601 (代) E-mail：jsise-kenkyu@kio.ac.jp

- **発表原稿の提出** : ※発表原稿提出締切 : 2010 年 2 月 10 日 (水)

1. 原稿は A4 用紙で、2 枚以上 8 枚以下の偶数枚でお願いします。
2. 原稿は、以下にあげている執筆要項を参考に作成してください。
教育システム情報学会公式サイトの「研究会開催案内」ページにあります。
<http://www.jsise.org/studygroupcommittee/format.html>

3. 原稿送付方法と送付先

※可能な限り電子メールで原稿を送付ください。

- 電子メールで送付される場合 (注) フォント埋め込みされた PDF 形式にて送信下さい。

畿央大学 教育学部 西端律子
E-mail: jsise-kenkyu@kio.ac.jp

- 郵便で送付される場合

畿央大学 教育学部 西端律子
〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中 4-2-2

- **懇親会** : 研究会終了後、懇親会を予定しています(会費は 4~5000 円を予定)。

- **共催** : 本研究会は、教育システム情報学会と畿央大学との共催で行われます。

- **お問い合わせ先** : 畿央大学 教育学部 西端律子
E-mail: jsise-kenkyu@kio.ac.jp

=====

2009 年度 特集論文研究会 発表募集

=====

担当：柏原昭博（学会誌編集委員会），小西達裕（研究会委員会）

SNS (Social Networking Service) を始めとして、ネットワーク上におけるコミュニケーション支援技術の急速な進展に伴い、ネットワークコミュニティにおいてより高度な学習・教育支援が実現できる可能性が飛躍的に高まっています。実際、代表的なプラットフォームとして Web 上に有用なコミュニティ支援環境の実現が試みられています。同時に、技術的な側面だけではなく、学習・教育コミュニティをいかにデザインすべきかといった問題に理論的・実践的にアプローチしようとする試みやコミュニティの評価についても検討が進められています。

以上のような現状を踏まえ、教育システム情報学会ではネットワークコミュニティにおける学習・教育支援に関するシステム開発・実践を共有するとともに、今後幅広い視点からの研究の推進を目的として特集論文（テーマ：ネットワークコミュニティにおける学習・教育支援）を募集いたします。掲載は 2011 年 1 月発刊号の予定です。募集分野等の詳細につきまして本学会ホームページをご覧ください。

また、この特集論文の募集に合わせて「特集論文研究会」を以下の要領で開催いたします。特集論文研究会での発表ではコメント希望の有無で 2 種類の発表形式を選択できます。コメントを希望されます場合には、研究会委員ならびに新技術開発・活用委員会委員が分担してご提出いただきました研究会原稿を読ませていただき、研究会での発表時に論文執筆に役に立つコメントを提供させていただきます。このコメントを参考にさせていただきます、特集論文にご投稿いただきたいと思いますと考えております。多くの発表をお待ちしております。

■**テーマ** : ネットワークコミュニティにおける学習・教育支援

■**開催日** : 2010 年 3 月 13 日 (土)

■**開催場所** : 畿央大学 (〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中 4-2-2)

■**発表申込締切** : 2010 年 1 月 8 日 (金)

■**原稿提出締切** : 2010 年 2 月 10 日 (水)

※特集論文への投稿期限は 2009 年 5 月 15 日 (土) の予定です。

■**発表申込先** : 電気通信大学 情報通信工学科 柏原昭博
〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1
E-mail : kasihara@ice.uec.ac.jp

■**発表申込方法** : 電子メールで下記の項目をお送りください。

(注) メールの題名に「JSiSE 特集論文研究会申込」とお書きください

- (1) 発表タイトル
- (2) 発表者（登壇者に○）
- (3) 所属
- (4) 概要（200 字程度）
- (5) コメント希望の有無
 - ・有りの場合の発表時間は 40 分（発表 20 分，質疑 20 分）
 - ・無しの場合の発表時間は 25 分（発表 20 分，質疑 5 分）
- (6) 連絡先住所，氏名，電話番号，電子メールアドレス
- (7) その他，発表に関する要望

ネットワークコミュニティにおける学習・教育支援

SNS (Social Networking Service) を始めとして、ネットワーク上におけるコミュニケーション支援技術の急速な進展に伴い、ネットワークコミュニティにおいてより高度な学習・教育支援が実現できる可能性が飛躍的に高まっています。実際、代表的なプラットフォームとしてWeb上に有用なコミュニティ支援環境の実現が試みられています。同時に、技術的な側面だけではなく、学習・教育コミュニティをいかにデザインすべきかといった問題について実践的に検証しようとする試みやコミュニティの評価についても検討が進められています。

当学会においても、SNS新技術創造委員会においてSNSを中心とした学習・教育コミュニティの支援に関するワークショップや研究会を企画し、多くの発表と参加者を集めて活発な議論を行うことができました。ネットワークコミュニティにおける学習・教育支援に対する関心は非常に高く、本論文特集のテーマは時機を得ていると考えられます。

以上のような現状を踏まえ、ネットワークコミュニティにおける学習・教育支援に関するシステム開発・実践を共有するとともに、今後幅広い視点からの研究の推進を目的として、本論文特集の企画いたしました。奮ってご投稿をお願いいたします。

1. 対象分野

ネットワークコミュニティにおける学習・教育支援に関わる研究を幅広く募集します。キーワードは次の通りですが、これらに限定されるものではありません。

SNS, CMS (Contents Management System), blog, 学習コミュニティ, コミュニケーション支援, 協調学習支援, ユーザインタフェース, 知識共有, メタデータ, コンテンツデザイン, 可視化, システム運用, 実践コミュニティ, 学習理論, コミュニティのデザイン, コミュニティの評価, ナレッジマネジメント, インフォーマルラーニング, 集合知 など。

2. 論文種別

通常と同様、すべての種別の論文を募集します。

なお、査読結果により、異なる種別での採録となる場合もあります。また、編集委員会の判断で、一般投稿論文として扱うことになる場合もあります。あらかじめご了承ください。

3. 投稿要領

一般の論文投稿規定に準じます

4. スケジュール

投稿原稿締め切り：2010年5月15日（土）

掲載予定：2011年1月1日発行予定の学会誌

5. 問い合わせ

- ・学会誌編集委員会2010特集号幹事 柏原 昭博 e-Mail : kasihara@ice.uec.ac.jp
- ・Web投稿に関する問合せ先 教育システム情報学会編集事務局
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-4-19 株式会社国際文献印刷社
電話：03(5389)6492 e-Mail : jsise-edit@bunken.co.jp



「JSiSE 学生研究発表会」発表者募集のお知らせ

教育システム情報学会 渉外・活性化委員会

関係者各位

平素は、教育システム情報学会の活動にご協力頂き、ありがとうございます。

さて、教育システム情報学会 渉外・活性化委員会では、恒例の「学生研究発表会」を下記の通り企画しました。

発表してみたいけれども学会はちょっと…という学生諸君、自分の研究に関して、広くアドバイスを求めたい、力試しをしてみたい、という院生諸君、指導教員として、年度のまとめとして発表させたい、とお考えの先生方、ふるって発表申し込みのほど、よろしくお願ひします。

記

1) 開催地区、開催場所、開催日：(括弧内は、共催支部名)

開催地区	開催場所	開催日
北海道：	千歳科学技術大学	2010年3月4日(木)
関東：	電気通信大学	2010年3月8日(月)
北陸：	金沢大学	2010年3月1日(月)
東海：(東海支部)	名城大学	2010年3月3日(水)
関西：(関西支部)	関西学院大学大阪梅田キャンパス	2010年3月6日(土)
中国：(中国支部)	広島市立大学	2010年3月8日(月)
四国：	香川大学	2010年3月15日(月)
九州：	日本文理大学	2010年3月1日(月)

2) 内容：

*研究発表(口頭発表)

*ポスター発表(会場によっては募集していません。)

3) 発表者資格：

大学生(短大生、高専4・5年生・専攻科を含む)、

大学院生(マスターコース、ドクターコース在籍者)

社会人学生も参加可能です。

*JSiSE 正会員の推薦が必要です。

*留学生の方の発表(英語・日本語)の発表も歓迎します。

*発表場所(地区)は、自分の所属する大学の場所と一致していても良い。

*発表申し込み方法：別添の「JSiSE 学生研究発表会発表申込方法」参照のこと

4) 備考：

*関西地区(関西支部共催)の募集要綱については多少異なる点がありますので、直接、関西支部学生研究発表会委員長 若林 茂 (wakabaya@kobe-kosen.ac.jp) までお問い合わせ下さい。

以上

JSiSE学生研究発表会 発表申込方法

2009 年度開催一覧

開催地区	実行委員長 連絡先メールアドレス	申込締切	発表原稿 提出締切
北海道	小松川浩 hiroshi@photon.chitose.ac.jp	1月25日(月) 17:00	2月15日(月) 17:00
関東	植野 真臣 anma@ai.is.uec.ac.jp 安間 文彦	1月25日(月) 17:00	2月15日(月) 17:00
北陸	松本 豊司 matumoto@wave.ipc.kanazawa-u.ac.jp	1月25日(月) 17:00	2月15日(月) 17:00
東海	渡邊 豊英 yamasaki@ccmfs.meijo-u.ac.jp 山崎 初夫	1月25日(月) 17:00	2月15日(月) 17:00
関西	若林 茂 wakabaya@kobe-kosen.ac.jp	1月25日(月) 17:00	2月15日(月) 17:00
中国	松原 行宏 matsubar@hiroshima-cu.ac.jp	1月25日(月) 17:00	2月15日(月) 17:00
四国	林 敏浩 hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp	1月25日(月) 17:00	2月15日(月) 17:00
九州(ポスター 発表なし)	坪倉 篤志 tsubokura@nbu.ac.jp	1月25日(月) 17:00	2月15日(月) 17:00

◆発表申込について

電子メールにて、以下の6項目をメール本文に、発表要約を添付書類にして、希望する会場の連絡先メールアドレスに送ってください。送り先と申込締切は「2009年度開催一覧」を参照のこと。

所属大学の所在地にかかわらず、どの開催場所で発表しても構いませんが、JSiSE 正会員推薦者とあらかじめ相談しておいてください。

- 項目：①氏名（ふりがな） ②学校名 ③学部・学年
 ④JSiSE 正会員である推薦者の所属および氏名
 ⑤発表希望場所（北海道、関東、北陸、東海、関西、中国、四国、九州のいずれか）
 ⑥研究発表希望 or ポスター発表希望（地区によっては無いところがあります。）

発表要約：200字程度（発表題目もつけておくこと）

◆発表の採用・不採用について

発表の採用・不採用については、実行委員会で発表要約を審査後、2月3日（水）迄に結果を通知します。発表希望者が多数の場合は、指導教員1名につき発表者を1名に限定させていただく場合があります。ご了承ください。

◆発表原稿と発表について

発表が採用された場合は、発表原稿（A4×2～4ページ）を e-mail に添付して送ってください。送り先と原稿提出締切は「2009年度開催一覧」を参照のこと。発表原稿フォーマットは、JSiSE 全国大会発表フォーマットに従うものとし、実行委員長より提供します。

発表時間は、研究発表1件につき20分（発表15分、質疑応答5分）の予定です。また、ポスター発表は、質疑応答を含めて1件につき5分程度です。優秀な発表は、当日、学会長名にて表彰します。以上、不明な点は、発表希望地区の実行委員長にお尋ね下さい。

国際会議のご案内

国際会議のご案内は、教育システム情報学会の会員のみなさんからの紹介や、インターネット上で流れている CFP 情報をもとに編集されています。会員のみなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、ご連絡ください。

また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますので、そちらのほうもお待ちしております。

新着情報：3 件

☞ **ITS 2010:** the Tenth International Conference on Intelligent Tutoring Systems

- 開催期間： June 14-18, 2010
- 開催地： Pittsburgh, USA
- URL: <http://www.cmu.edu/its2010/>
- 論文投稿スケジュール：
 - Abstracts due (mandatory for papers and YRT): January 12, 2010
 - Papers, posters, YRT: January 15, 2010
 - Author notification (papers, posters, YRT): March 1, 2010
 - Camera ready due: April 1, 2010

☞ **ICALT2010:** The 10th IEEE International Conference on Advanced Learning Technologies

- 開催期間： July 5-7, 2010
- 開催地： Sousse, Tunisia
- URL: <http://www.ask4research.info/icalt/2010>
- 論文投稿スケジュール：
 - Submissions all types: January 15, 2010
 - Authors' Notification: February 19, 2010
 - Final Camera-Ready Manuscript: April 12, 2010

☞ **EDM2010:** The Third International Conference on Educational Data Mining

- 開催期間： June 11-13, 2010
- 開催地： Pittsburgh, PA, USA
- URL: <http://www.educationaldatamining.org/EDM2010>
- 論文投稿スケジュール：
 - Paper submission due date: March 10, 2010
 - Poster abstract submission: April 28, 2010

再掲情報：2 件

☞ **ED-MEDIA 2010:** World Conference on Educational Multimedia, Hypermedia & Telecommunications

- 開催期間： June 28-July 2, 2010
- 開催地： Toronto, Canada
- URL: <http://aace.org/conf/edmedia/>
- 論文投稿スケジュール：
 - Submissions Due: December 18, 2009
 - Authors Notified: February 9, 2010
 - Proceedings File Due: May 3, 2010

👉 **UMAP 2010**: The 18th INTERNATIONAL CONFERENCE ON USER MODELING,
ADAPTATION, AND PERSONALIZATION

- 開催期間 : June 20-24, 2010
- 開催地 : Big Island of Hawaii
- URL: <http://www.hawaii.edu/UMAP2010/>
- 論文投稿スケジュール :
 - abstracts: Monday 11 January 2010
 - full papers: Monday 18 January 2010
 - final reviews to authors: Monday 1 March 2010
 - camera-ready version: Monday 15 March 2010



2010 年度

JSiSE第35回全国大会

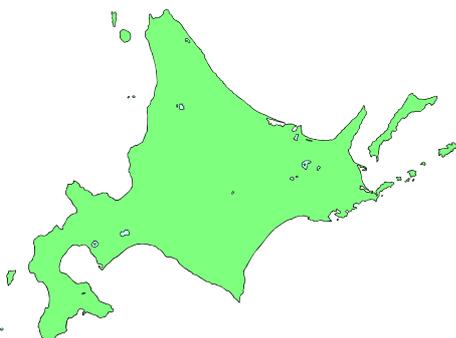
- 日 程 :
2010年8月26日(木)・27日(金)・28日(土)

- 開催場所 :
北海道大学 高等教育機能開発総合センター
札幌市北区北17条西8丁目



第35回全国大会が上記の日程・会場にて開催されることが決定いたしました
是非、ご参加ください

大会の詳細につきましては、確定次第随時ご案内させていただきます



新入会員の紹介

下記の皆様方が、新しくご入会されました。

新入会員 (敬称略)

2009. 10. 1～11. 30

会員番号	氏名	所属機関	会員種別	推薦者
JSiSE-A0902949	新井 弘泰	桜美林大学	準会員	
JSiSE-A0902950	大久保雅司	NEC ラーニング(株)	正会員	夜久竹夫
JSiSE-A0902951	坂本 憲昭	法政大学	正会員	
合 計		正会員 2	準会員	1

★☆☆年会費納付のお願い☆☆★

2009年度年会費の納付期限は9月末とさせて頂いておりました。まだ年会費をご納付いただけていない学会員様は、至急ご入金頂きますようお願い致します。未納が続きますと、ご入金を確認できるまで、学会発送物をお止めさせて頂く場合がございます。未納の会員様は事務局までご連絡をいただければ、期日を過ぎましても随時受け付けておりますので宜しくお願い致します。

詳しくは、事務局までメールにてお問い合わせ下さい。

E-mail : secretariat@jsise.org

◎振込先◎

<ul style="list-style-type: none"> ■銀行名：ゆうちょ銀行 ■支店名：019 店 ■当座預金：0709632 ※00180-6-709632 ■口座名義：教育システム情報学会 	<ul style="list-style-type: none"> ■銀行名：池田銀行 ■支店名：上新庄支店 (222) ■普通預金：13440 ■口座名義：教育システム情報学会 家本修
--	--

・ご登録いただいております内容に変更がございましたら、事務局まで、ご連絡ください。
ご連絡が無い場合、学会発送物がお届けできない場合がございます。

◎年会費のご案内◎

- 正会員：7,000 円
- 準会員：4,000 円
- 企業・団体会員：50,000 円
- 研究報告年間購読：4,000 円
- 入会金：1,000 円 (初年度のみ)



2009年度役員選挙の結果より、2009年8月から理事・役員・評議員が新体制となりました。
 ここで皆様にご紹介させていただきます。

理事・評議員 (2009年8月21日現在)

会長	岡本敏雄	電気通信大学	監事	伊藤紘二	山口東京理科大学
副会長	伊東幸宏	静岡大学		小荒井順	財団法人能力開発工学センター
副会長	福原美三	慶應義塾大学	評議員	植野真臣	電気通信大学
理事	家本 修	大阪経済大学		梅田恭子	愛知教育大学
	小田良次	実教出版株式会社		役 誠雄	富士通株式会社
	柏原昭博	電気通信大学		岡部成玄	北海道大学
	小松秀圀	NTTラーニングシステムズ株式会社		越智洋司	近畿大学
	小松川浩	千歳科学技術大学		梶田将司	名古屋大学
	坂元 昂	日本教育工学振興会		香山瑞恵	信州大学
	鈴木克明	熊本大学		北村士朗	熊本大学
	竹内 章	九州工業大学		小尻智子	名古屋大学
	対馬勝英	大阪電気通信大学		小西達裕	静岡大学
	永岡慶三	早稲田大学		佐々木整	拓殖大学
	仲林 清	放送大学		渋井二三男	城西大学
	平嶋 宗	広島大学		清水康敬	東京工業大学
	不破 泰	信州大学		竹本宜弘	元)高崎商科大学
	本田敏明	茨城大学		中條道雄	関西学院大学
	前迫孝憲	大阪大学		中村直人	千葉工業大学
	松居辰則	早稲田大学		西野和典	九州工業大学
	溝口理一郎	大阪大学		西端律子	畿央大学
	矢野米雄	徳島大学		林 敏浩	香川大学
	吉田 覚	日本データパソフィック株式会社		平田謙次	東洋大学
	渡辺成良	電気通信大学		布施 泉	北海道大学
	渡辺豊英	名古屋大学		松原行宏	広島市立大学
	渡辺博芳	帝京大学		三輪和久	名古屋大学
事務局長	家本 修	大阪経済大学		夜久竹夫	日本大学



【常設委員会・担当部門】

■学会誌編集委員会

委員長 : 理事 渡辺成良
副委員長 : 理事 仲林 清
副委員長 : 理事 松居辰則
アドバイザー: 理事 矢野米雄

■英文誌編集委員会

委員長 : 理事 福原美三
副委員長 : 理事 柏原昭博
副委員長 : 三輪和久
アドバイザー: 理事 溝口理一郎

■会計

: 理事 小松秀罔
: 理事 永岡慶三

■組織運営・規約検討委員会

: 理事 対馬勝英
: 理事 渡邊豊英

■研究会委員会

委員長 : 理事 竹内 章
副委員長 : 理事 平嶋 宗
副委員長 : 小西達裕

■企画委員会

委員長 : 理事 前迫孝憲
副委員長 : 理事 小松川浩
副委員長 : 理事 本田敏明

■国際化委員会

委員長 : 理事 鈴木克明
副委員長 : 理事 吉田 覚
副委員長 : 理事 平嶋 宗

■大会企画委員会

委員長 : 理事 伊東幸宏
副委員長 : 理事 不破 泰
副委員長 : 理事 渡邊豊英
副委員長 : 岡部成玄
アドバイザー: 理事 家本 修

■顕彰委員会

委員長 : 理事 溝口理一郎
副委員長 : 理事 不破 泰

■WWW委員会

委員長 : 理事 渡辺博芳
副委員長 : 理事 柏原昭博

■涉外・活性化委員会

委員長 : 理事 家本 修
副委員長 : 理事 小松川浩
副委員長 : 理事 吉田 覚

■情報教育委員会

委員長 : 理事 本田敏明
副委員長 : 理事 小田良次
副委員長 : 西野和典
副委員長 : 夜久竹夫

【時限委員会】

■出版企画委員会

総括 : 会長 岡本敏雄
委員長 : 理事 伊東幸宏
副委員長 : 理事 福原美三
副委員長 : 理事 家本 修
副委員長 : 理事 鈴木克明
顧問 : 理事 坂元 昂

■産学官連携・人材開発戦略委員会

委員長 : 役 誠雄
副委員長 : 北村士朗
: 担当理事 仲林 清

■新技術開発・活用委員会

(次世代 e-learning アーキテクチャ, Web インテリジェンス, SNS, CSCL, 推薦システム等)

委員長 : 松原行宏
副委員長 : 植野真臣
副委員長 : 小尻智子
副委員長 : 佐々木整
: 担当理事 柏原昭博

■若手育成・会員獲得委員会

委員長 : 北村士朗
副委員長 : 西端律子
副委員長 : 布施 泉
副委員長 : 林 敏浩
副委員長 : 越智洋司
: 担当理事 家本 修

■教育システム技術標準化委員会

委員長 : 平田謙次
副委員長 : 梶田将司
: 担当理事 仲林 清

この度、本学会会長に再選されました。再度、新たな気持ちと経験を生かしてより一層魅力のある学会にしていきたく思います。これを実現するのは、日々、ご活躍されている全ての会員の方々の強い関与が最も重要なことと思います。そして、新たな会員の参入も大きな要因であります。何卒、本学会に加入して下さることをお願いします。

本学会は、様々な教育事象に関わる諸課題を未来志向で学術的に探究していこうという学会であります。歴史も古く、既に35年近くなる伝統と権威ある学会です。

本学会の特徴は、“教育という事象”をシステム学的、情報学的に捉え、問題解決を図る方法・技術・知識を探究・洗練・蓄積・共有するところにあります。全ての会員の方々が本学会の活動・運営に関わって頂ける雰囲気大切にしたいと思っています。

常に新たなビジョンを掲げて、会員数2000名を目指したいと思っています。質と量の拡大、充実を図りたいと思います。さらに国際化への貢献と関与も積極的に展開したいと思えます。どうか、ここに、ご案内させて頂いた皆様の入会を心より期待しております。

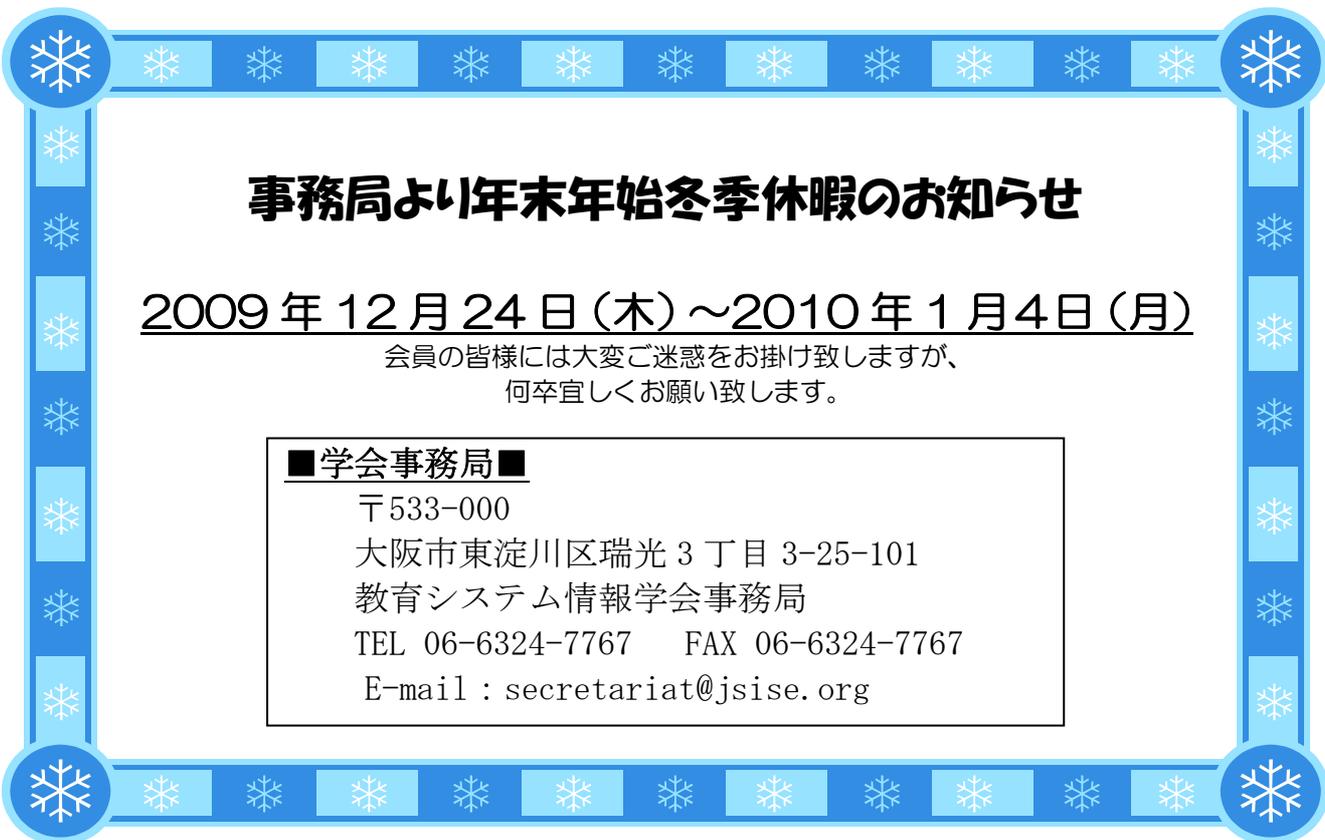
さて、全ての事象において、大競争（メガ・コンピティション）・非構造化時代に入り、生きていくということが大変しんどい時代に入ってきました。政治も行政も混沌とし、社会の秩序や構造が旧来のもの、やり方が通じなくなってきました。教育のあり方も同様であります。こうした中で学会というものが社会にどのような貢献ができるか、何をしなければならないかを考えていくことが必要になります。機動性のある体制、現実的な様々な教育問題、将来を見据えた事柄等を、学問としての価値を、新しい視点で見直し、創造していく必要があります。

E-Learning、情報教育、学習・教育・訓練を支援するメディア／ツール、SNSなどの社会的ネットワークの活用、Webインテリジェンス、人工知能、e-Pedagogy、社会的共同体指向の学習モデル（Community of Practices）、CSCL等の研究対象がありますが、他学会との差別化を意識し、一步先んじたより深い理論、技術、応用・実践研究を目指した魅力的な学会にしていく必要があります。同時に国際的な活動も必要です。技術と教育課題をシステム学、情報学という視点からバランスの取れた文理融合指向の我が国只一の専門学会としての確立をより一層、目指していきたく思います。

これらの挑戦的な目標に、どれほど迫れるか分かりませんが、皆様方からお知恵を頂き、また実際的な活動支援を頂ければ、誠に幸いに思います。国際的には、前述したような方向性を有した多くの学会または国際会議があり、連携もしていきたく思います。さらに国の政策等への様々な助言活動もこれからの学会の使命であると思えます。

最後に、できるだけ多くの会員の皆様の積極的な関与（involvement）と貢（contribution）をお願いします、生産的で活気のある国際レベルでリーダーシップを取れる学会にしていきたく思います。





事務局より年末年始冬季休暇のお知らせ

2009年12月24日(木)～2010年1月4日(月)

会員の皆様には大変ご迷惑をお掛け致しますが、
何卒宜しくお願い致します。

■**学会事務局**■

〒533-000

大阪市東淀川区瑞光3丁目3-25-101

教育システム情報学会事務局

TEL 06-6324-7767 FAX 06-6324-7767

E-mail: secretariat@jsise.org